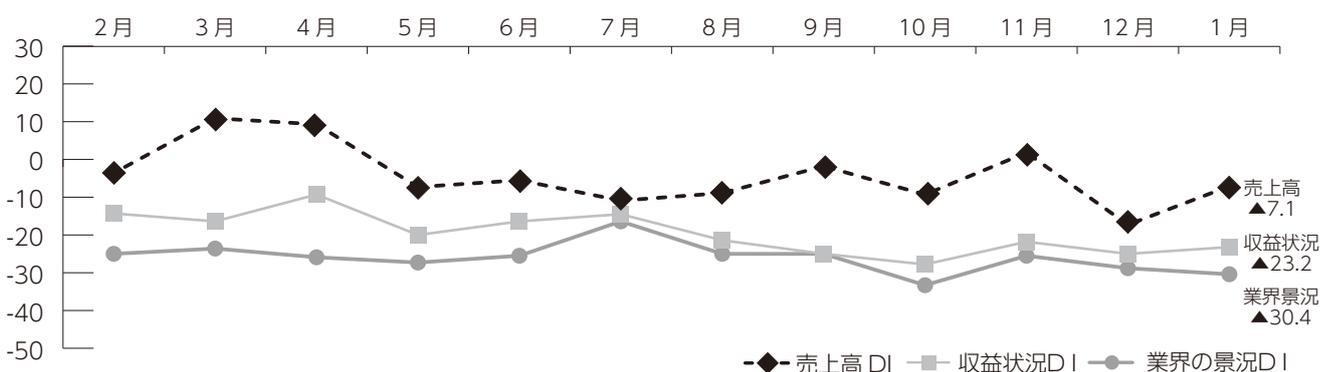


価格転嫁が進まず収益状況の悪化が続く

概況

原材料費・人件費の高騰、人手不足が多くの業種で深刻化している中で、価格転嫁が追いつかず厳しい状況が続いている。年始は休日の並びが良かったこともあり、温泉旅館では賑わいが見られた一方で、商店街は人出が少なく、運輸業は荷動きが鈍かったため、売上高に影響がみられた。また、トランプ新政権の動きを注視するとともに、その影響を不安視する声が聞かれた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☀	☁
	サービス業	☀	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 円安による輸入物価の上昇や賃上げに伴う人件費増加を要因とした原材料費の高騰が止まらない。</p> <p>[菓子] SNS等で紹介されると県外からも注文が入り忙しくなるが、人手不足もあり休みを返上して対応している状況。包材の値上がりで箱代を値上げした。</p> <p>[酒造] 全体的に売上数量は減っているが、純米酒・純米吟醸酒は好調。</p>
織 維 製 品	<p>[織物 (伊勢崎)] 小巾織物は人材確保が難しく厳しい状況。広巾織物（インテリア部門）は安定した受注を確保。</p> <p>[刺繍] 年明けの動きは低調だが、月後半にかけて回復。サンプル等の動きも徐々に活発化。</p> <p>[外衣・シャツ] 引き合いの多い企業もあるが、価格転嫁が追いつかず厳しい状況。外国人材の活用が進み、日本人より外国人が多い企業も増加している。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 納入先工事業者の職人不足が影響し、工事が遅延しており、苦戦している。春を目安に諸物価の値上がり分を価格転嫁する見込み。</p> <p>[生コンクリート] 出荷量について、中央地区をはじめ吾妻地区、北部地区で増加、東毛地区も前年並みであったため、全体では増加となった。</p>
機械・金属	<p>[めっき] 半導体装置・機械関連は上向きに転じたが、金利上昇による財務面の負担が増加。</p> <p>[機械金属] 自動車関連、建設機械関連が伸び悩む中、AI関連や半導体関連も落ち着きを見せている状況。為替相場やトランプ政権の動きを注視している。</p> <p>[自動車関連] 新車に対応した製造工程へ切り替えるべく、ラインを停止した影響から、受注の減少やタイミングにズレが生じている。</p>
そ の 他	<p>[製材] ウッドショック後、販売価格は低迷する一方で、人件費、運送費等のコストは増加。価格転嫁が難しく厳しい状況が続く。</p> <p>[家具] 低価格品の受注は前年並みか微増で推移しているが、高価格帯の受注は落ち込み、全体の回復には時間を要すると見込んでいる。</p> <p>[印刷] 人手不足が常態化している。アメリカのトランプ大統領就任により、今後の電力や石油など、エネルギー価格の動向に対して不安と期待が入り混じっている。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[紙卸売] 年末年始の荷動きが例年に比べて鈍い印象。現場人員の確保に苦戦している。</p> <p>[再生資源] 古紙について、年明け以降も集荷量は低調。首都圏を中心に同業者間のM&Aが増加しており、業界再編が本格化する見込み。</p>
小 売 業	<p>[中古自動車オークション] 出品台数の確保が厳しい中、平均単価も低下している。年度末に向けて、大型企画を準備し改善を図る意向。</p> <p>[石油] 燃料油価格激変緩和補助金の縮小に伴い、販売価格は上昇し、買い控えを懸念。販売量は落ち込んだが、前年並みの売上を維持。</p> <p>[生花] 昨年末からの値上げにより、常連客の来店頻度は減少。一方で、「成人の日」のお祝い用の花の需要は年々高まっており、今後の「物日」化に期待している。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 9連休の影響もあってか、正月の人出は少なかった。9日に開催された初市も露天商の出店がなく、祭りの賑わい感は薄かった。</p> <p>[沼田市] だるま市が開催され、多くの人出で賑わいが見られたものの、商店街での買い物客は少なく、通行のみが目立ち、売上への恩恵はほとんどなかった。</p>
サービ 業	<p>[建築設計] 高齢化と後継者・技術職員不足が深刻。2025年4月に建築基準法等の改正を控え、施工者との連携不足や法規制の複雑化により、円滑な業務が困難になることを懸念。</p> <p>[伊香保温泉] 1月は年始休みの並びが良く、翌週にも3連休、下旬には「伊香保国スポ2025（スピードスケート競技会）」が開催されたため、好調な年明けとなった。</p> <p>[不動産] 住宅ローンや不動産投資の借入れ金利が上昇し、需要減少や価格下落を危惧。建売分譲地や住宅用地の動きも鈍く、今後は市場動向を慎重に見極める必要を感じる。</p>
建 設 業	<p>[建設] 深刻な人手不足に加え、賃上げや物価高騰により、倒産増加の懸念が広がる。全国一律の時間外労働規制は、天候や気温に左右される建設業には適さないとの声が多い。</p> <p>[砂利採取] 輸送手段であるダンプ確保が困難であり、製品や原石運搬に支障が出ている。人材確保は収益悪化により手が回らず、高齢化が深刻な状況。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 1月は、前半は休みが多く、全体的に荷動きは鈍かった。また、燃料価格の高止まり等の影響で、運送業者が採算の合わない案件を拒否する事例もみられ、荷主との関係にも変化が生じている。</p> <p>[貨物軽自動車運送] 引越しは、組合員の年齢層が上がり、断るケースもみられる。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。